

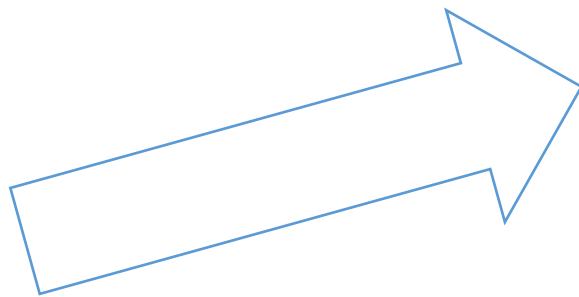
令和4年度

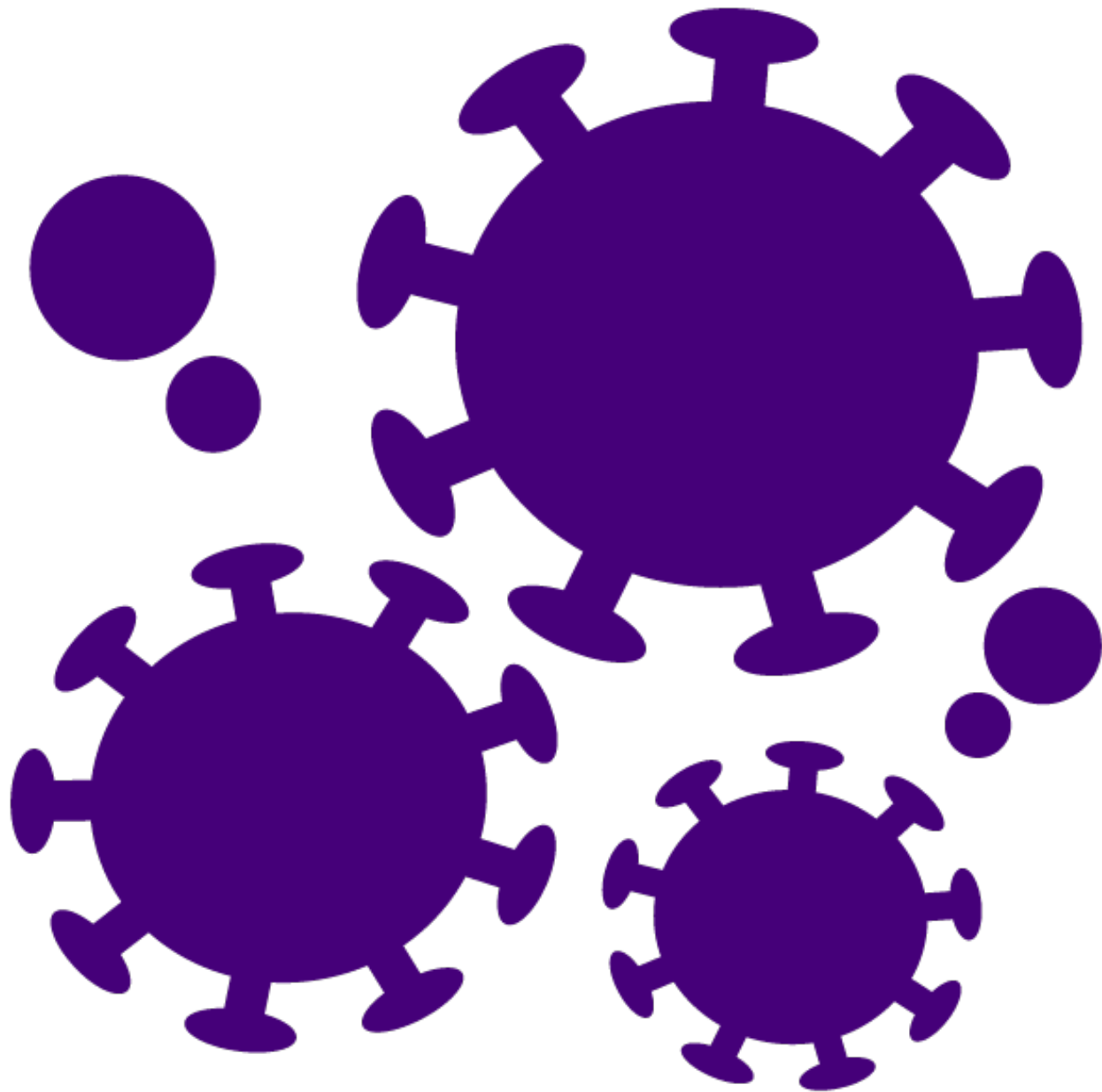
熊本県小学校教育研究会国語部会

研究理論提案

令和4年6月25日（土）

今を生きる子どもたちが成人して社会で活躍する頃...





コロナによる
休校・・・
予測困難な時代の
到来

社会構造の変化によって直面する課題

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』

中央教育審議会

「自ら課題を見つけ、それを解決する力」

を育成するため、

他者と協働し自ら考え抜く学び

が十分でない

1 これからの社会に求められる力

次代を切り拓く子どもたちに求められる 資質・能力

○文章の意味を正確に理解する読解力

○教科固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で
考えて表現する力

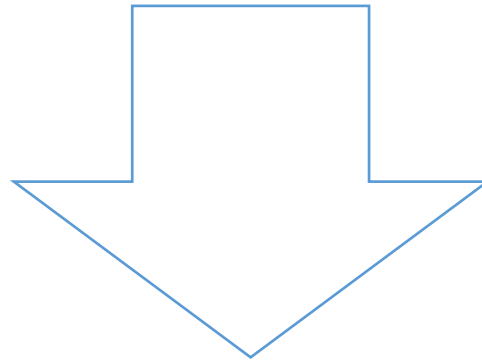
○対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し
新しい解や納得解を生み出す力

1 これからの社会に求められる力
これらの資質・能力を育む手立て

○個別最適な学び

○協働的な学び

充実を図る



見方・考え方を
働かせる

主体的・対話的で深い学びの実現

2 求められる国語科の力

「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」

学びに向かう力
人間性等

言葉による見方・考え方

知識及び技能

思考力・表現力・判断力等

【国語科】言葉による見方・考え方を働かせて

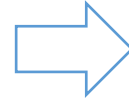
対象と言葉、言葉と言葉との関係を
言葉の意味、働き、使い方等に着目して
捉えたり問い直したりして、
言葉への自覚を高めること

例えば...

「ごんぎつね」

東京書籍 4年 下

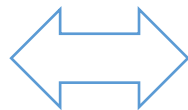
指導者 「ごんのつぐないは、
兵十に伝わったの？」



子どもにとって切実感のある
問いとは？

伝わったのかな。ごんは、
これまでいたずらばかりして
いたんだよ。ぼくだったら信じ
ないなあ。

きっと伝わっているよ。最後
に、兵十が「火縄じゅうをばた
りと、取り落とした」のは、
ごんのつぐないが伝わったか
らだよ。「ばたりと」ってショ
ックを受けたときに使うでしょ。



言葉による見方・考え方が働いている

ごんのつぐないってなんだっけ。

なんでこの問いを
考えているんだっけ？



言葉による見方・考え方が働いていない

「言葉による見方・考え方」を働かせる授業

国語科における学び

- 言葉の意味を吟味し、解釈を広げ・深める
- 言葉を活用する力を高める
- 新たな語彙の獲得・言葉の意味を捉えなおす

子供が既有知識・経験を交流しながらを学習に生かす



子供が学びを自覚し、問いをもちながら主体的に学ぶ



「言葉による見方・考え方」が働き、
個々が有する「見方・考え方」が更新される

生きて働く言葉の力 未来を生きる子どもに必要な力

未来を拓く言葉の力を培う

国語科学習の創造

～学びを自覚し、共に更新し続ける子供の育成～

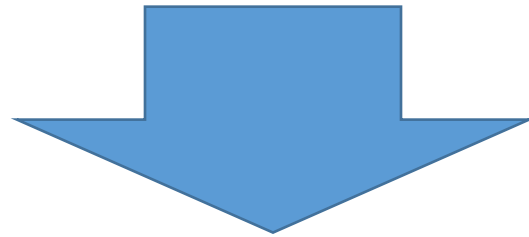
3 研究の視点

視点1 【学びを自覚するための手立て】

視点2 【共に更新するための工夫】

視点1 【学びを自覚するための手立て】

○子どもが自らの学びを自覚し、調整しながら粘り強く学習課題に取り組むことで、主体的な学びが生まれる



- (1) 学びの土台をつくる導入
- (2) 学びの指針となる学習課題
- (3) 立ち止まって振り返る場

視点1【学びを自覚するための手立て】

(1) 学びの土台をつくる導入の設定

既習單元における
指導事項



本單元に必要な
語彙などの既有的知識



学習單元

第1次

学習活動

第2次

学習活動

学習活動

学習活動

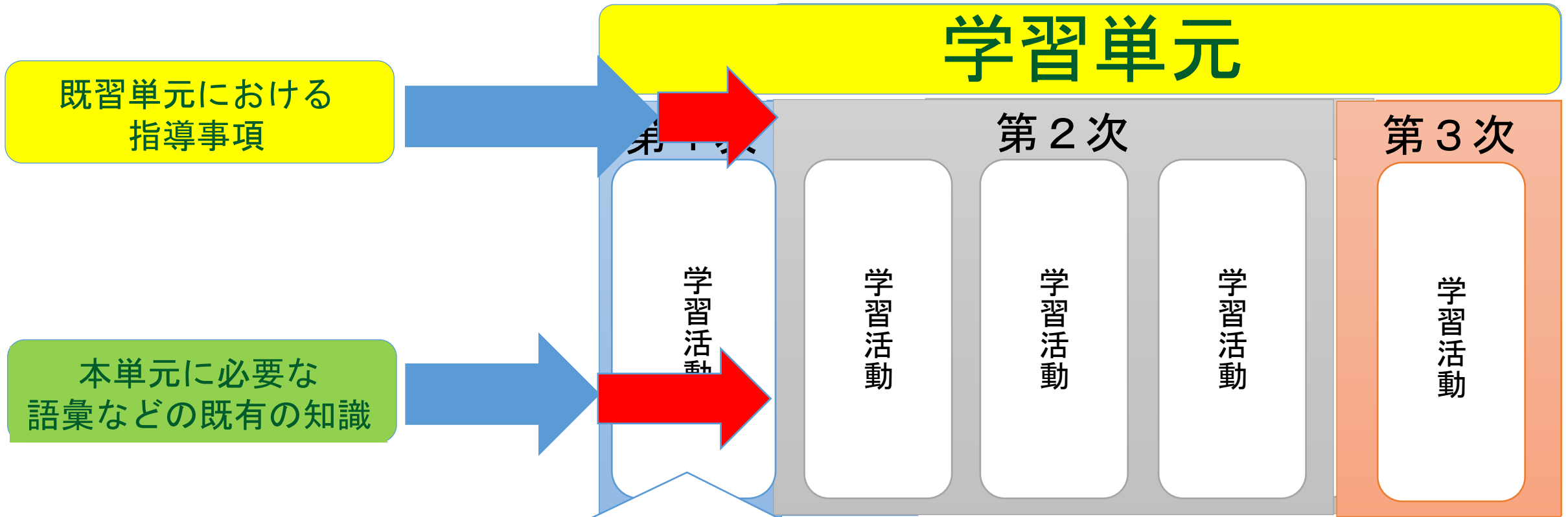
第3次

学習活動

学びの始めからつまずいてしまう

視点1【学びを自覚するための手立て】

(1) 学びの土台をつくる導入の設定



第1次で学びを始める土台をつくる

視点1【学びを自覚するための手立て】

(1) 学びの土台をつくる導入の設定

例えば・・・ 「大造じいさんとガン」 東京書籍 5年



登場人物が出てくる話って



視点1【学びを自覚するための手立て】

(1) 学びの土台をつくる導入の設定

他にも・・・



絵本の読み聞かせ



学習の記録の振り返り

視点1 【学びを自覚するための手立て】

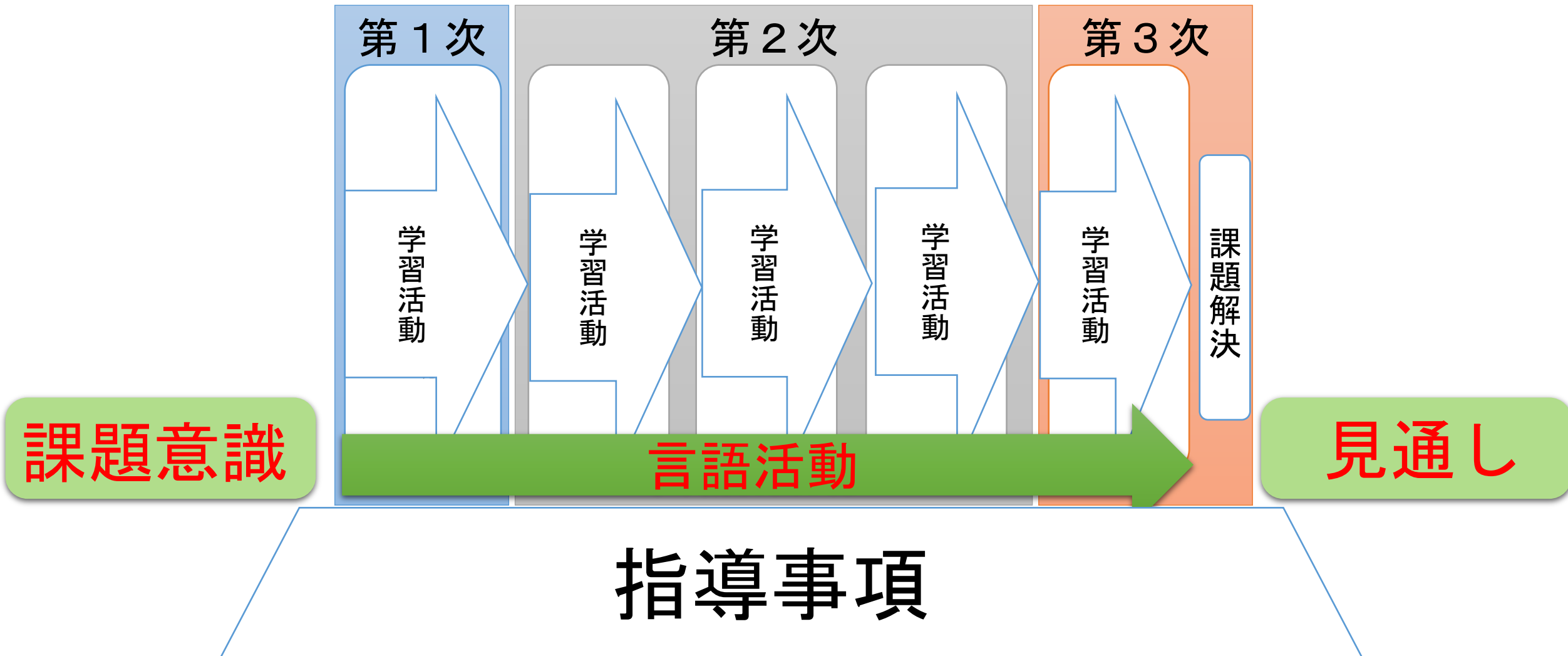
(2) 学びの指針となる『学習課題』

「言葉の力」：本単元における指導事項を単元に
合わせて焦点化したもの

「言語活動」：学習課題を達成するための言語活動

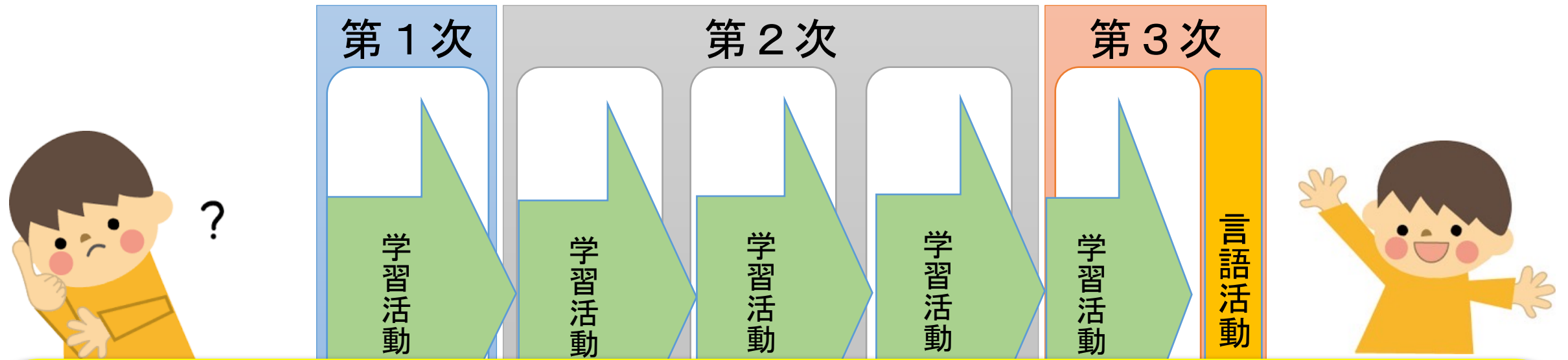
視点1【学びを自覚するための手立て】

(2) 学びの指針となる『学習課題』



視点1【学びを自覚するための手立て】

(2) 学びの指針となる『学習課題』



学習課題の解決

視点1 【学びを自覚するための手立て】

(3) 立ち止まって振り返る場

あれ、このままだと課題の
解決と結びつかないよ。
〇〇の部分について、もう
少しみんなで考えたいな。



ふり返りの3つの観点

①今日の学び

分かったこと、考えが変わったこと

②学びをつなげて（友達・学習と）

友達の〇〇という意見で、
今日の〇〇は、前の学習の△△に

③新たな疑問

今日の学びから生まれた疑問

☆プレゼン大会に生かせる学び☆

「筆者の伝えたいこと」「伝え方」

振り返りの観点の提示

視点1 【学びを自覚するための手立て】

(3) 立ち止まって振り返る場

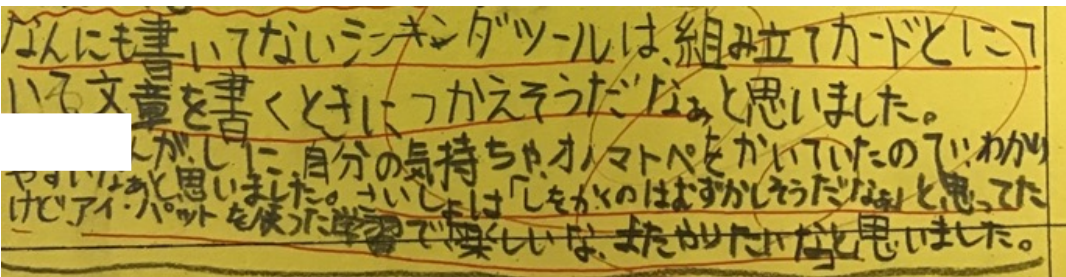


授業の導入に前時の学びを振り返る

昨日と今日の
勉強がここで
つながってるな！

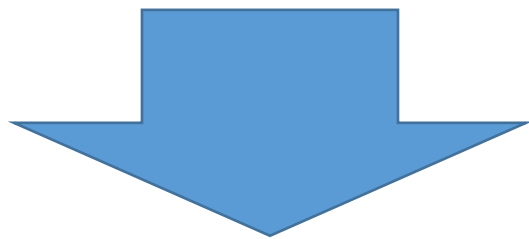
わたしのいいところ
を認めてくれて嬉しいな！

次は、ぼくも同じよ
うに振り返って
みよう！



視点2 【共に更新するための工夫】

子どもが見方・考え方を働かせながら相互に作用することで、自らの見方・考え方を更新していく深い学びが生まれる



- (1) 考えを表出し、比較する場
- (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

視点2 【共に更新するための工夫】

(1) 考えを表出し、比較する場

例えば・・・ 「世界一美しいぼくの村」 東京書籍 4年下



物言平命家

世界一美しいぼくの村



二

月

五

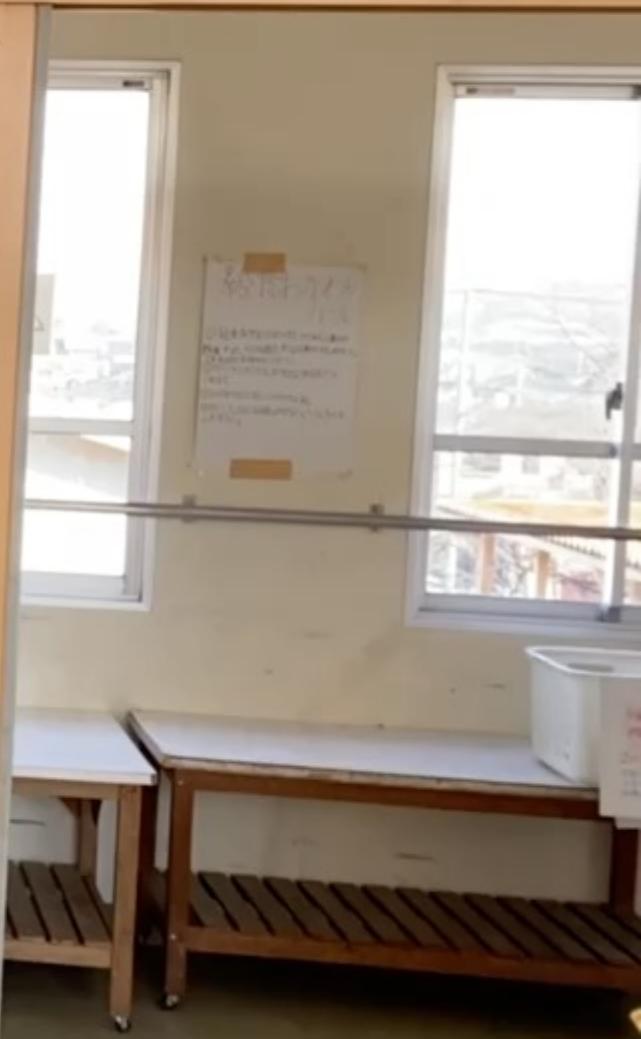
日

金

曜



外部画面の設定がOFFになっています



視点2 【共に更新するための工夫】

(1) 考えを表出し、比較する場

例えば・・・ 「世界一美しいぼくの村」 東京書籍 4年下



色カードで子ども同士の考えのちがいを可視化

視点2 【共に更新するための工夫】

(2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

4年下「ごんぎつね」 東京書籍

ごんは兵十のことをどう思っていたのでしょうか。

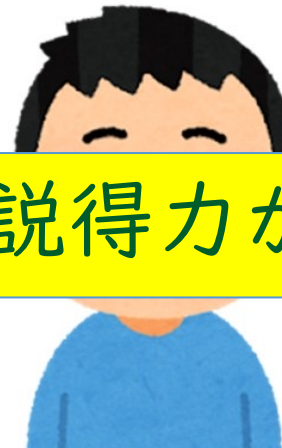


なんでそう思ったのかなあ...

兵十と友だちになりたかったと思います。



根拠や理由づけがないため、説得力がない



視点2 【共に更新するための工夫】

(2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

4年下「ごんぎつね」 東京書籍

問い返し

みなさんもひとりぼっちになった経験がありますか？

ああ、確かに！
ごんは、そんな気持ち
だったのか・・・

あります。学校から帰ったとき、「ただいま」と言ったら、お母さんが入院していなくて声がかえってこなかったの、ひとりより、ひとりぼっちな気がしました。



根拠や理由づけを充実させることで、納得解が生まれる

視点2 【共に更新するための工夫】

(2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

4年下「ごんぎつね」 東京書籍

根拠に戻る

では、本文に戻って考えてみましょう。



あれ、でもごんや兵十にはどれだけ待っても帰ってくる家族はいないよね。だから、もっとさびしかったんじゃないかな・・・



たしかに。じゃあごんは、兵十が自分と同じひとりぼっちで、すごくさびしそうだったから、友だちになりたかったのかも！



根拠をもとにさらに検討することで、学びが深まる

未来を拓く言葉の力を培う

国語科学習の創造

～学びを自覚し、共に更新し続ける子供の育成～

視点1 【学びを自覚するための手立て】

視点2 【共に更新するための工夫】

令和4年度

熊本県小学校教育研究会国語部会 全国大会

令和5年1月27日（金）